

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年7月23日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年7月23日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【既設多核種除去装置(C)バッチ処理タンク出口弁のシート漏えいについて】 多核種除去設備(C)の処理中断中にバッチ処理タンク1Cおよび2Cに水位変動が確認され、当該タンク出口弁を洗浄したが改善されなかった。 原因は、当該タンク出口弁のシート漏えいと推定。現在のシート漏えい量は微小なものである為、設備は運転を継続している。 今後、当該タンク出口弁を点検予定。	GⅢ
2	【既設多核種除去設備(B)クロスフローフィルタ入口圧力の指示不良について】 既設多核種除去設備(B)クロスフローフィルタ入口圧力の指示値が上昇し測定範囲を超過。 原因は、圧力電送器単体の不良と推定。 今後、当該圧力電送器を点検・交換予定。	GⅢ
3	【雑固体廃棄物焼却設備建屋空調用冷凍機(B)の異常警報の発報について】 制御室にて「空調用冷凍機B異常」警報が発報。現場にて、空調機用冷凍機B-3の「クリーンコンバータ異常」を確認し、当該冷凍機が停止していることを確認。 原因は、外気温の影響による過負荷と推定。設定温度を21℃→25℃に変更し復旧。	GⅢ
4	【海水放射線モニタの陸上ストレナ差圧装置の故障について】 陸上ストレナ差圧装置の配管部の分解清掃において、差圧発信機のダイヤフラム部に亀裂を確認。 今後、当該ダイヤフラム部を点検・交換予定。 なお、差圧装置の故障期間中は代替監視可能なため海水放射線モニタの運転に支障なし。	GⅢ
5	【5号機メタクラ5C(7B)しゃ断器の動作不良について】 しゃ断器の動作確認試験を実施したところ、しゃ断器の動作が管理値を超えて緩慢であることを確認。 今後、当該しゃ断器を点検・修理予定。	GⅢ
6	【淡水化装置(RO3)ウルトラフィルター空洗用エアホースからの漏えいについて】 淡水化装置(RO3)運転時、ウルトラフィルターカセット1の空洗用エアホースからの漏えいを確認。堰外への漏えいはなし。 当該エアホースの出入口弁を増締めして、漏えいなしを確認。	GⅢ